

運輸安全マネジメントの取組(2021)

富士交通株式会社

「すべては、お客様のために」

「安全確保と安心の提供」

I 輸送の安全に関する基本的な方針

- 1 社長は、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社員に輸送の安全確保が、最重要であるという意識を徹底させ、主導的な役割を果たします。
- 2 輸送の安全に関する法令遵守し、安全管理体制の構築と維持に努めます。
- 3 安全に関する計画の策定及び確実な実施。安全に関する意見を聴取し対策を見直し、輸送の安全性の向上を図ります。
- 4 輸送の安全に関する情報については、積極的に公表いたします。

II 輸送の安全に関する目標

- 1 目標 「無事故・無違反」
事故・違反の削減
有責事故 「ゼロ」 車両故障 「ゼロ」
車内事故 「ゼロ」 交通違反 「ゼロ」

2020年度 事故・違反とも無く目標達成しました。

2020年度の結果(令和2年4月～令和3年3月)

事故の件数	0件		
有責事故	0件	車両故障	0件
車内事故	0件	交通違反	0件

III 輸送の安全に関する計画と取組

- 1 安全会議の開催
3ヶ月毎(6月・9月・12月・3月)の運行管理者会議で、輸送の安全に関する計画策定・進捗・改善・教育指導を決定
- 2 安全計画に基づく教育
年間教育スケジュールに基づき、安全運転の為の乗務員教育の実施
- 3 運輸安全マネジメント研修受講
役員・運行管理者が積極的に研修を受講し、安全意識の向上を図る
- 4 ドライブレコーダーに基づく安全運転指導
データ分析・事故防止講習の実施
- 5 ヒヤリハット集・情報共有
ヒヤリハット集作成・安全講習の実施(情報共有)
事故防止に活用
- 6 運行管理者研修・整備管理者研修の受講
安全輸送に関する基礎・知識を学ぶ
- 7 安全運転講習の受講(外部講習)
安全運転への基本姿勢を学ぶ
- 8 積極的な車両入替
- 9 輸送の安全に関する2020年投資予算

車両の整備・点検・修理	700万円	
デジタルトラレコ買替	900万円	
アルコールチェッカーメンテナンス	20万円	
検査・研修・講習費	50万円	
IP無線導入	90万円	
		安全投資予算額
		1,760万円

V 輸送に関する監査

輸送の安全への取組を確認し、改善を続けます

- ①内部監査の実施 令和4年3月予定
- ②営業所の内部監査 令和4年2月予定
- ③営業所の業務点検 令和3年6月・9月・12月予定

VI 安全統括管理者・安全管理規程

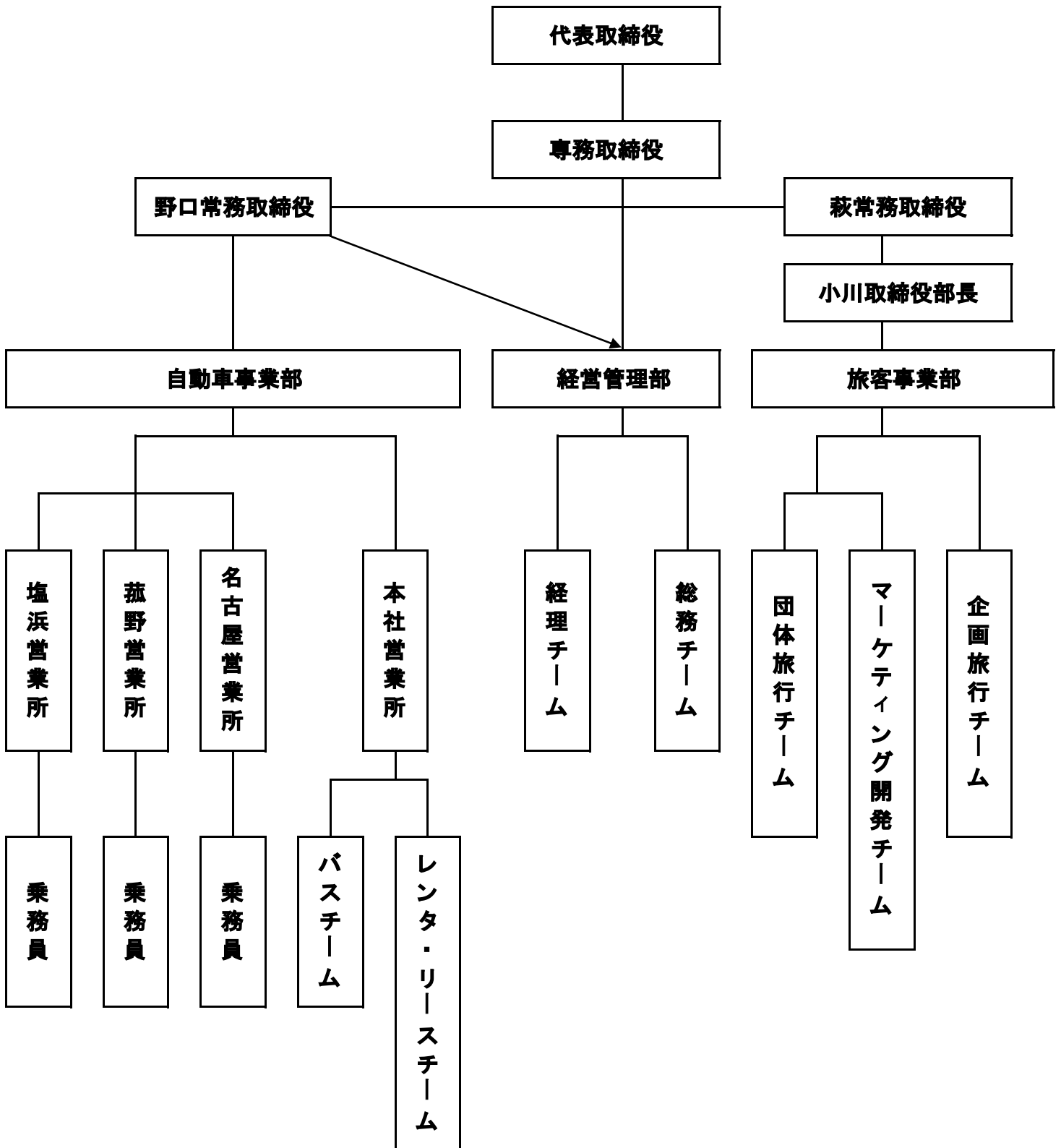
安全統括管理者 代表取締役 萩 文三男
安全管理規程 変更なし

VII 輸送の安全に関する組織体制

- ①管理機構図 別紙 1
- ②緊急連絡網 別紙 2

富士交通株式会社管理機構図

別表1



富士交通株式会社 緊急連絡網(別紙 2)

